資料１

令和８年度 第２回高岡市認知症施策推進会議（報告）

１　開　催

日　時　：　令和８年８月 20 日(木)　13 時～14 時
場　所　：　高岡市役所　802 会議室
出席者　：　委員 15 名

２　会議内容について（概要）

（１）認知症に関する各調査結果について　（一部抜粋）

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

＜対象者：一般高齢者、介護保険事業対象者、要支援認定者＞

・認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の割合は 12.5%（R4:11.9%）と増加。
・認知症に関する相談窓口を知っている人の割合は 26.2%（R4:23.5%）と増加しているが、依然と認知度が低い。
・「新しい認知症観」について「よく理解している」「少し理解している」が 47.5%と半数を下回っている。
・認知症に対するイメージは、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 28.7%と一番多いものの、「認知症になると介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」、「認知症になると何もできなくなってしまう」、「地域での生活が難しくなってしまう」、「わからない」を含め 48.8%と約半数である。
・認知症になってからも、希望をもって自分らしく暮らし続けるためには「家族や周囲の人との良い関わり・支え」64.3%、「早期に相談できる医療・介護制度」51.8%、「必要なサービスが分かりやすく利用できること」51.3%が複数回答で上位。

② 在宅介護実態調査結果　＜対象者：在宅の要介護者＞

・認知症本人の交流の場への参加希望について「どちらともいえない」47.4%で一番多く、次に「参加したくない」26.9%であった。
・参加したくない理由については、「移動手段がないから」、「自分の状況を人前で話すことに抵抗があるから」が各々18.2%であった。

③ 地域包括支援センター調査結果　＜対象者：地域包括支援センター＞

・認知症になっても暮らしやすい地域にするためにはどのようなことが必要かに対し、「地域の見守り・探索等の体制の整備」、「成年後見制度の普及や消費者被害防止対策」の次に「認知症窓口の充実・周知」、「認知症の方の家族が集う場の普及（認知症カフェ等）」、「若年性認知症の方への支援（集いの場、就労）」の順で多い。

④ 居宅介護支援事業所調査　＜対象者：居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、看護小規模多機能型居宅介護支援事業所＞

・認知症になっても暮らしやすい地域にするためにはどのようなことが必要と考えるかに対し、「認知症に関する住民の理解（認知症サポーター養成等）」44.8%、「地域の見守り・探索等の体制の整備」43.1%「認知症の早期発見・早期対応、医療体制の整備」41.4%の順で多い。

○ これらの結果をふまえた取組の方向性

・認知症の人や家族が、必要なときに身近な相談窓口につながることができるよう、相談窓口の周知啓発の強化

・新しい認知症観に対する理解度がまだまだ低い状況から、認知症の人を地域の一員として、希望や役割をもって暮らす存在として理解している市民の理解の促進

・認知症になってからも、希望をもって自分らしく暮らし続けるために、認知症になってからも家族や周囲の人との良好な関わりの中で、新しい認知症観のもと、ともに支え合いながら暮らしていくことができる取り組み

・本人が早期に相談や必要な支援につながる仕組み、本人や家族が必要な情報をわかりやすく得られ、自分に合った医療・介護・生活支援サービスを選び、利用できる環境づくりの促進

・認知症本人の交流の場等の活動内容や参加しやすい雰囲気についての周知

（２）第１期高岡市認知症施策推進計画の方向性及び認知症施策について

「第９期高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険計画」において推進してきた認知症施策を「第１期認知症施策推進計画」の４つの基本施策で整理する。

○４つの基本施策

1　新しい認知症観に基づく認知症に対する正しい理解の普及・本人発信支援	
拡	認知症サポーター養成講座の開催
	認知症地域説明会の実施（地域等）
	認知症サポーターステップアップ講座の開催
	軽度認知障害（MCI）への理解に関する周知啓発
	若年性認知症への理解に関する周知啓発
N	「新しい認知症観」への理解に関する周知啓発
	認知症ケアパスの作成・普及啓発
	認知症月間に合わせた普及啓発活動
N	本人発信支援（本人の声や活動紹介、県事業「富山県認知症希望大使」の取組支援）

2　認知症の人と家族の暮らしを支える取組・ネットワークづくり	
再掲	認知症サポーター養成講座の開催
再掲	認知症サポーターステップアップ講座の開催
N	チームオレンジ活動の推進
	たかおか認知症パートナー宣言事業所を含む民間企業による見守り活動
	生活支援体制整備事業による居場所づくり
	ケアネット活動への支援
	成年後見制度の相談及び利用支援
	高岡市認知症ＳＯＳ緊急ダイヤルシステム事業
	高岡おでかけあんしんシール交付事業
	たかおか認知症個人賠償責任保険事業
	認知症の方とその家族の相談事業
	認知症の人と家族の一体的支援事業（認知症者本人・介護者が集う「みんなの会　つなが～る」の開催）
	認知症の方とその家族が集えるカフェ事業（補助）

3　早期発見・早期対応・早期診断を支える体制づくり	
	認知症地域支援推進員の配置
	認知症初期集中支援チームの設置
	認知症・地域ケア相談医による相談支援
	認知症疾患医療センターの周知啓発
再掲	認知症の方とその家族の相談事業
再掲	認知症の人と家族の一体的支援事業（認知症者本人・介護者が集う「みんなの会　つなが～る」の開催）

4　認知症予防に資する取組の推進		
	一次予防	通いの場の立ち上げ支援
N		難聴高齢者に対する支援（普及啓発、早期発見）
	二次予防	通いの場の継続支援（保健師・看護師による健康相談）
		介護予防把握事業（いきいきフレイルチェック表の活用）
		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（通いの場におけるいきいきフレイルチェック表の活用）
		地域包括支援センターによる業務・活動（地域説明会、ぴんぴん健幸講座、実態把握訪問等）
再掲	三次予防	認知症の方とその家族の相談事業
再掲		認知症の人と家族の一体的支援事業（認知症者本人・介護者が集う「みんなの会　つなが～る」の開催）